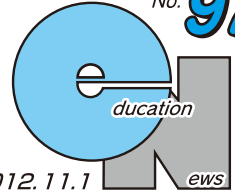


市教委だより

Kawagoe City Board of Education News

川越市教育委員会

No. 97



2012.11.1



- ◆いじめの問題に対する今後の取組 2
- ◆理科教育の充実に向けて 3
- ◆川越市の学校給食 4
- ◆知っ得！文化財 5
- ◆教育相談Q&A・育英資金借入れ申し込み案内 6

カキーンと快音響かせて

9・10月に、平成24年度川越市民体育祭兼新人大会兼県民総合体育大会川越市予選会が、市内中学校とほか4会場で行われました。写真は、初雁球場で行われた中学生の野球の試合の様子です。

日頃の練習の成果を発揮し、白熱した試合が秋空のもと繰り広げられました。

川越市マスコットキャラクター
ときも



フォトニュース 夏



両校は1年おきに互いに訪問し合っています

姉妹校ノースセーレム高校【アメリカ合衆国】訪日

6月18日から1週間、市立川越高校の姉妹校であるオレゴン州ノースセーレム高校から、教員3人・生徒6人が訪日しました。

この交流は昭和63年から始まり、今年で21回目を迎えました。

2日目には、本市教育委員会を表敬訪問し、その後、生徒の家庭にホームステイしました。3日目の歓迎レセプションでは、両校の生徒と一緒に歌い、ダンスし、国際交流と友情を深めました。

姉妹友好都市・棚倉町との交流会！

8月4日・5日に、川越市の小学4～6年生9人が福島県棚倉町を訪問しました。1泊を共に過ごし、棚倉町の皆さんと交流を深めました。10月27日・28日には棚倉町の小学生が川越市にホームステイで訪れ、再会しました。



棚倉町の子どもたちと記念撮影

いじめの問題に対する今後の取組

いじめの問題は、生命や人権にかかわる大きな問題です。川越市教育委員会では、いじめの未然防止及びいじめの早期発見・早期対応に徹底して取り組んでまいります。

家庭・地域の皆さんも、子どもたちの健やかな成長のために、ご理解ご協力をお願いいたします。

1 教育委員会の取組

- ・生徒指導の推進を図るために、小・中学校間の一層の連携に取り組んでまいります。
- ・定期的な学校訪問による状況把握と状況に応じた学校訪問を強化します。
- ・いじめが認知された場合の初期対応についての支援・指導、いじめが解消された学校への見届け・指導を強化します。
- ・いじめ・不登校対策検討委員会の充実を図ります。
- ・関係機関と一層の連携を図ります。
- ・いじめ防止に向けた教職員の研修会を実施します。

2 学校の取組

- ・一人一人の子どもたちに寄り添い、道徳や学級活動、体験活動等のさまざまな教育活動を通して「いじめを許さない」「命を大切にする」子どもたちの育成に努めます。
- ・「いじめはどこにでも起こりうる」との認識を全ての教職員がもち、いじめを認識したら、すぐに事実を確かめ、解決に向け、学校全体で組織的に対応します。
- ・児童会や生徒会、学級活動による「いじめを許さない学校」づくりを進めます。
- ・児童生徒の悩みを積極的に受け止めることのできる相談体制の整備を図ります。
- ・さわやか相談員やスクールカウンセラー、川越市立教育センター分室（リバーラ）との連携を図ります。
- ・いじめの把握や相談を受けやすくするためのアンケートの工夫をします。
- ・いじめの未然防止、いじめを見抜く、いじめ解決に向けた指導力向上にかかわる校内研修を実施します。

3 家庭・地域へのお願い

- ・ご家庭でも、日ごろから子どもと触れ合う機会を大切にし、何でも話せる雰囲気の中で、子どもが発するサインを受け止めるようにしてください。
- ・家庭生活のさまざまな機会を通して、「いじめは絶対に許されない行為であること」を感じ取らせてください。
- ・ご家庭で、いじめに気づいたら、すぐに学校に連絡、相談をしてください。また、子どもにしっかりと寄り添ってください。
- ・地域で子どもたちを見守り、育てる中で、いじめを見かけたり、話を聞いたりした時には、すぐに学校や家庭に連絡してください。

◎いじめや不登校など教育全般に関する相談を受け付けています。

☎いじめ相談直通電話

049-234-8336 川越市立教育センター分室（リバーラ）

月～金 8:30～17:30 土・日・祝日 9:00～12:00（12/29～1/3を除く）

理科教育の充実に向けて



昨今、子どもたちの理科離れが指摘されています。川越市教育委員会では、小・中学生に理科の楽しさやおもしろさを知ってもらい、さらに理科の学習の充実を図るために、さまざまな事業を行っています。その中から、川越市小・中・大学連携理科ふれあい事業、川越市理科実験助手派遣事業、川越市小学生科学体験事業の3事業をご紹介します。

川越市小・中・大学連携理科ふれあい事業

近隣大学の先生や学生を指導者として小・中学校に招き、児童生徒に対して観察や実験の講座を実施します。大学の協力を得て、専門家による興味深い講座を多数開設することができ、各学校で子どもたちが新しい発見に感動し、意欲的に取り組んでいます。

平成二十四年度開設講座 十五講座

- ・色が変わる！
- ・大きなシャボン玉をつくらう
- ・ロケットを飛ばそう
- ・ガウスの加速器
- ・生命の誕生を観察しよう！ など

9.11 高階南小学校
「色が変わる！」講座



川越市理科実験助手派遣事業

小・中学校に理科実験助手を配置し、体験的な学習や個別指導を充実させます。実験助手が観察・実験の準備や補助、理科室の整備、教材開発の支援等を行うことが、児童生徒の実験・実習の技能の向上につながるとともに、理科に対する興味・関心、知的好奇心や探究心を高めることに役立っています。

9.26 芳野小学校
「水溶液の性質」の授業



川越市小学生科学体験事業

川越市の子どもたちが、科学に関する講演や実験、最先端の科学技術を有する施設等での見学や実習を通し、科学に対する興味・関心を高め、知的好奇心や探究心を深めるとともに、各校での報告を通して体験を広めることを目的として、夏季休業中の三日間、小学校六年生を対象に実施しています。

今年度は、一日目に光触媒の発見・研究で世界に名を知られ、化学の分野において頂点にある東京理科大学学長藤嶋昭先生による講演会。二日目は、「液体窒素でマイナス二百度の世界を体験しよう」「バナナからDNAを抽出しよう」の実験・実習。三日目は、日本科学未来館の施設見学をしました。

参加児童からは、「なぜだろう」と疑問を持つことの大切さや、実験したり、調べたりすることの楽しさを感じたとの感想が聞かれました。また、この事業に参加した児童が、各校で体験報告会を実施し、この体験を広めてくれます。

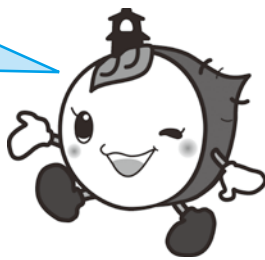
藤嶋昭学長 講演会
「化学 世界の頂点を知る！」



7.27 日本科学未来館



学校給食



川越市マスコットキャラクター
ときも

給食試食会は、毎年二期に各学校で多く実施されているんだ。今回は、九月十九日に大塚小学校で実施された様子について紹介するよ。

●給食試食会の目的

給食試食会は各学校やPTAが主体となり、保護者等を対象に学校給食の理解を深め、学校給食の普及、充実を図ることを目的として実施されています。

また、各学校、PTAの要望により給食センターの栄養士が講師として派遣され、試食会の際に食育や栄養指導等に関する講話が実施されることもあります。



イラストや模型を使って講話を行う栄養士

今回は六十名ほどの保護者が参加し、講話の最後の質疑応答ではたくさんの方の質問があり、保護者の関心の高さがうかがえました。



食事について理解が深まったよ。



栄養士の話を熱心に聞く参加者

●試食の時間

そして、お待ちかね！給食の試食の時間です。PTAの役員の方が準備をしてくださり、参加者同士の会話も弾む楽しい雰囲気の中、試食が始まりました。

参加者の中には毎年参加しているという方もいて、試食会を実施する意義を感じました。終了後には、参加者からアンケートを集め、今後の献立作成等の参考とさせていただきます。



〈この日の献立〉
・ツイストパン・牛乳・アルファベットスープ・ミートボール(2個)
・ホットキャベツ・ドレッシング



栄養満点でおいしいね～。

●今後について

大塚小学校のほかにも、九月に七校、十月に二十四校の小学校で試食会が実施されました。

教育委員会としては今後も各学校・PTAと連携し、学校給食の理解と普及、充実を図っていくとともに、安全な給食の提供に努めてまいります。



試食をしながら意見交換をする参加者

学校給食費の未納問題について
川越市の学校給食費の収納率は、経済状況の悪化や一部保護者の意識の変化等により、年々低下してきております。
教育委員会では、各学校にも協力を仰ぎつつ、電話催告や家庭訪問を行い、未納者に対して納付を促しております。また、必要に応じて就学援助等の補助制度や児童手当から徴収(天引き)もご案内いたしておりますので、支払いが難しい状況にある方は、学校給食課へご相談ください。
なお、納付について問い合わせや連絡等がない又は履行を守らない徴収困難案件(悪質滞納者)については、収納対策室に移管し、法的措置の対応も含めた徴収の強化を図っていきます。
学校給食費は学校給食に使用される食料費に充てられており、公平公正な納付が求められております。学校給食費の趣旨をご理解いただき、適正に納付いただきますようお願いいたします。

(単位:円)

H19	11,375,534
H20	13,926,284
H21	18,721,144
H22	21,241,682
H23	25,897,538

学校給食費未納額の推移
(過去5年間・累積)



未納ダメ!!

知っ得 文化財

知ってちょっと得意になれる!

第22回「今に残る伝統的な屋根」

歴史ある建物が数多く残されている川越。それらの屋根には、現在とは違う材料や方法で葺かれているものがあります。市内の文化財に見られる伝統的な屋根をいくつかご紹介します。

屋根の始まりは、私たちの祖先が家を作るようになった時からと言われます。なぜなら屋根がなければ雨や風などの厳しい自然から身を守ることができないからです。わが国では、身近にある草などの植物を材料とした茅葺（草葺）

屋根が最も古いと考えられています。その後、木の皮や薄い板を使った檜皮葺や板葺（柿葺など）が考え出され、江戸時代以降は火に強い瓦葺へと変わっていきました。



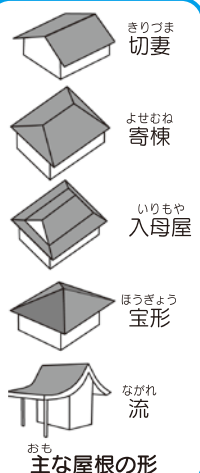
☆屋根瓦の葺き方にはどんな方法があるの？

本瓦葺 飛鳥時代以来の瓦の葺き方で、平らな瓦（平瓦）の間に丸い瓦（丸瓦）をかぶせるように並べていく方法です。

棧瓦葺 丸い瓦と平らな瓦を合体させたような形の瓦（棧瓦）で葺かれたもので、軽量で並べ易いため、江戸時代に考案されて以来現在まで広く使われている方法です。

☆屋根の形にはどんなものがあるの？

さまざまな種類がありますが、代表的なものは右図のように、切妻造り、寄棟造り、入母屋造りです。このほかにも、お堂などに見られる宝形造り、神社・社殿の流造りなどがあります。どれも雨水を効率よく流す造りになっています。

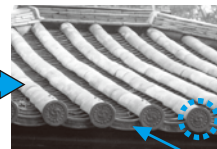


永島家住宅（旧武家屋敷）《茅葺・寄棟造り》



江戸時代後期建築

喜多院・慈眼堂《本瓦葺・宝形造り》



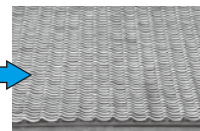
正保2年(1645)建築

仙波東照宮・拝殿《銅瓦葺・入母屋造り》



寛永17年(1640)頃建築

川越城本丸御殿《棧瓦葺・入母屋造り》



嘉永元年(1848)建築

丸瓦
平瓦

市内の文化財を見てみると茅葺・板葺の建物が今でも残されています。その一つ、永島家住宅（旧武家屋敷）は金属製の屋根で覆われていますが、実は茅葺です。かつて城下にあった武家屋敷（中・下級武士）の多くは茅葺であったと思われます。

板葺の屋根は、喜多院・客殿、書院で見られます。これらの建物は、まだ瓦が一般的に使われる以前の江戸時代初め頃に建てられた数少ない建物です。茅葺や板葺は、自然素材ならではの温かみや柔らかさを感じられます。

瓦葺は、慈眼堂など喜多院にある建物に、本瓦葺という古来の方法で葺かれた屋根を見ることができます。現在、一般的に見られるのは、棧瓦葺という江戸時代になって考案された軽量の瓦を使ったものです。

このほかには、神社の建物などに銅で覆われた屋根があります。中でも銅の瓦が見られるのが仙波東照宮・本殿、拝殿です。銅などの金属は、江戸時代以降に屋根に使われるようになりますが、高価な銅の瓦となると東照宮など使われる建物も限られています。



このように市内には、時代の古い建物が残されているため、古来の方法で葺かれた、今では貴重な屋根を見ることができます。それらには、造られた時代の特徴とさまざまな材料を上手に使い、見事に仕上げた職人さんの技が見られます。

教育相談Q&A

◆子どもの学習について

【Q】中学一年生の娘を持つ母親です。不安だった中学校生活ですが、友達もたくさんでき、楽しそうに学校に通っています。部活はバレーボール部に入部し、一生懸命頑張っている様子で、充実した毎日を送っているようです。ただ、家に帰ってきて、あまり机に向かって勉強する姿が見られません。注意をすると、反抗されてしまいます。こんな状態でののか、とても気がかりです。親としての子どもへの接し方についてお聞かせください。

【A】親が、子どもの学習に関心を持つことは大切な事です。ただ、中学生は自我も芽生え、親の言うことに反発を感じるようになります。「勉強しなさい。」と注意をするよりも、まずは、お子さんのよいところを認めてあげることが大切です。部活動を生懸命頑張っているなら部活の頑張りを応援してあげましょう。部活で頑張った経験や自分の頑張りを認められることが、自信になり、学習意欲にもつながっていきます。

家庭学習については、お子さんが勉強しやすい環境を整えることも大切です。ポイントとして次の点を気を配ってみてください。

①生活のリズムを整えましょう

毎日、継続して学習するためには、生活

のリズムを整えることが大切です。

まずは、早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付け、体の調子を整えましょう。気力、体力が充実してこそ、学習にもしっかりと取り組めます。

②会話を多くもちまわしましょう

食事の時間など、家族が一緒に過ごす時間を大切にしましょう。そして、学校での出来事を話題にし、子どもの理解に努めることが大切です。頑張っていることは具体的に褒め、悩んでいることがないか、見守っていきましょう。

③学習する雰囲気づくりをしましょう

時間になったらテレビを消すなど、約束を決め、学習に集中できる環境を整えましょう。

新聞やニュースを話題にしたり、読書をする時間を家族でもつなど、学習する雰囲気を作ることも大切です。

④学校の授業と関連させましょう

家庭学習も大切ですが、まずは、学校での授業に積極的に参加することが大切です。そのために、授業の予習・復習など、授業の内容と関連させて、家庭学習を行うとよいでしょう。自主学習したノートを学校の担任の先生に提出して、見てもらうのもよいでしょう。先生に認めていただくことで本人のやる気にもつながります。

川越市立教育センター分室（リベラー）では、教育に関するご相談をお受けしております。

川越市立教育センター分室（リベラー）

面接相談（予約制）：TEL2341-8333

電話相談：TEL2344-8335

育英資金 ～借入れ申し込み案内～ 問い合わせ…教育総務課総務担当TEL224-6074

来年4月から高等学校・中等教育学校（後期課程に限る）・高等専門学校・短期大学・大学・専修学校に進学する方または在学中の方で、経済的に学資金などの支出が困難な方に、無利子で資金をお貸しします。

対象（次の要件をすべて満たす方）…①市内に引き続き6か月以上在住している②経済的理由で、学資金や入学準備金の支出が困難である③心身健全で、かつ学業成績が良好である

償還期間…貸付期間の2倍（据え置き期間＝卒業後6か月）

提出書類…①学資金・入学準備金借入申請書②校長の推薦書③成績証明書④健康診断書⑤住民票（家族全員のもの）⑥合格通知の写し⑦保護者全員の平成24年分源泉徴収票または確定申告書控えの写し

*①②の用紙は、教育総務課・市立中学校に用意してあります。市のホームページからもダウンロードできます。

（ホームページ＝<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>）

*⑥は、申込期間後の提出も可能です。

申し込み…平成25年2月1日（金）～3月1日（金）（厳守）に教育総務課（市役所東庁舎2階）

区分	貸付額		
学資金（月額）	高等学校	国公立	13,000円
	中等教育学校（後期課程に限る）		
	専修学校	私立	20,000円
	高等学校		16,000円
	大学（短期大学含む）		30,000円
入学準備金	高等学校	国公立	150,000円
	中等教育学校（後期課程に限る）		
	専修学校	私立	280,000円
	高等学校		160,000円
	大学（短期大学含む）		360,000円

※貸付決定にあたっては、審査があります。申請された方全員に貸し付けが決定されるとは限りません。

11月～1月に子どもが参加できる各種教室

講座名	日時・申し込み等	中学生	問い合わせ
にちようおはなし会	毎週日曜日 14時30分～		中央図書館 TEL222-0559
クリスマスおはなし会	12月19日 15時30分～		
どようおはなし会	毎週土曜日 15時～		西図書館 TEL237-5660
クリスマスおはなし会	12月21日 ①14時～②16時～		
にちようおはようおはなし会	毎週日曜日 11時～		川越駅東口図書館 TEL228-7712
クリスマスおはなし会	12月21日 15時30分～		
どようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		高階図書館 TEL238-7550
クリスマスおはなし会	12月20日 15時30分～		
子ども体験教室 「ミニ掛け軸作り」	11月10日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み=11月1日、9時から電話またはファクス	○	博物館 TEL222-5399 FAX222-5396
子ども体験教室 「和楽器体験-三味線・琴に挑戦」	11月24日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み=11月2日、9時から電話またはファクス	○	
子ども体験教室 「お正月飾りを作ろう」	12月15日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み=12月1日、9時から電話またはファクス	○	
子ども体験教室 「たこを作ろう」	12月22日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み=12月2日、9時から電話またはファクス	○	
子ども博物館教室 「まゆ玉飾りを作ろう」	1月12日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み=1月5日、9時から電話またはファクス	○	
子ども体験教室 「土笛・土鈴作り」	1月26日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み=1月6日、9時から電話またはファクス	○	
サンタクロースのおはなし会	12月1日 10時30分～11時30分		
お正月のおはなし会	1月12日 10時30分～11時30分		
子ども映画会	12月8日 14時～15時		高階公民館 TEL242-6064
たかしな子どもの遊びクラブ	12月9日 9時30分～13時 申し込み=11月24日、10時から直接高階公民館		
子ども卓球王国	12月15日 13時30分～15時30分		
市制施行90周年記念 影絵・クリスマス公演	12月16日 10時30分～11時30分		
子ども卓球広場	11月10日、12月1日、1月5日 13時30分～15時30分		高階南公民館 TEL245-3581
子ども囲碁将棋広場	11月17日、12月15日、1月19日 9時～11時	○	
土曜子ども映画会	12月22日 10時～11時		
キッズクッキング	12月27日 9時30分～12時15分 申し込み=12月17日、10時から窓口(電話でも可、ただし窓口優先)		福原公民館 TEL242-5005
子どものひろば 「石と森の夢工房」	11月17日、12月1日、1月19日 10時～11時30分 申し込み=電話・ファクスまたは直接大東南公民館		大東南公民館 TEL242-0498 FAX240-1755
子どものひろば 「たこを作ってたこ揚げをしよう」	12月8日 13時30分～16時 申し込み=電話・ファクスまたは直接大東南公民館		
子どものひろば 「リース作り」	12月15日 13時30分～16時 申し込み=電話・ファクスまたは直接大東南公民館		
子どものひろば 「新春カルタ大会」	1月12日 10時～11時30分 申し込み=電話・ファクスまたは直接大東南公民館		
子どものひろば 「コマを作ってたこ回しましょう」	1月12日 13時30分～16時 申し込み=電話・ファクスまたは直接大東南公民館		
冬休み子ども映画会	12月27日・28日 10時30分～12時		
親子でクッキング	12月15日 10時～13時 申し込み=11月17日、10時から電話	○	
キッズ劇場(読み聞かせとアニメ映画)	1月12日 10時～正午 会場=霞ヶ関北小多目的ホール		伊勢原公民館 TEL237-5676

※日時・申し込み方法等は、変更になる場合があります。詳細につきましては、お手数ですが各施設へお尋ねください。

※ の教室は、事前に申し込みが必要です(他は当日直接参加)。また、特に記載がない場合、会場は問い合わせ先の施設です。

※「中学生」の欄に○がついている教室は、中学生にもお勧めの教室です。





子どもサポート委員会!

地域が学校を支えています

中央南地区子どもサポート委員会

中央南地区子どもサポート委員会では、各小中学校への学校応援活動が盛んです。学校応援活動とは、地域の皆さんが学習・安全安心・環境整備などの支援を行う活動です。十月に行われた大塚小六年生の家庭科「ミシン学習支援」の様子をお伝えします。

◇先生も子どもも大助かり

ミシンを使って生活に役立つ物を製作します。最近ではミシンを使わない家庭も増え、普段ミシンに触れる機会の少ない子どもにとっては、六年生でも上系のかけ方や下系の準備、縫い始めや縫い終わりの返し縫いなど、慣れないことばかりです。



一生懸命に製作中!

「先生!糸が切れてしまいました!」
「糸が絡んでミシンが動きません!」

と、教室のあちろこちろから助けを求められ、先生二人では大変です。



各班で学習支援をしています

そこでサポート委員の皆さんの出番。子どもたちにミシンの扱い方や縫い方の手順を丁寧に教えてくださいます。時には、鮮やかな手つきで手本を見せて、子どもたちから感嘆の声が上がりました。

担当の先生からも「学習支援の皆さんのおかげで、子どもたちにきめ細かな指導が行き届き、本当に助けられています」との声。完成した時の六年生の笑顔が印象的でした。

地域の自然と地域の人々に囲まれて

霞ヶ関地区子どもサポート委員会

学校では、校外での体験学習が盛んです。霞ヶ関地区子どもサポート委員会では、行き帰りの交通や活動場所での安全のための活動をしています。九月には、霞ヶ関南小の一年生と「虫取り」に出かけました。

◇秋の公園で虫取り!

「大きなバッタだね。」
「わあ、カマキリはこんなに跳ぶんだね。」
普段は、なかなか虫に触ることができない子どもたちも、走って、跳んで、一生懸命に捕まえました。

「ほら、そこにバッタがいるよ。」



見つけたバッタを捕まえたよ

地域の方は虫取り名人。その後を虫取りあみを手にした二年生が、追いかけてやっとなら捕まえました。

「見せて、見せて!」

「すごいね、トンサマバッタだね。」

「足が長いね。」

一つのものに集まって、友達と体験や感想を語り合うことは、とても大切な経験です。

「どうやって虫かごに入れるのかなあ?」と子どもたちの声。

そこで、地域の方がバッタをそとつつかんで見せてくれました。次に、子どもたちもそとつつかんでみます。

「わあ、柔らかい!」



帰りも学校まで一緒に

虫かごの中には、いろいろな種類のバッタが集まりました。秋空のもと、安比奈親水公園で元気に走り回った一年生は、地域の方と一緒に学校へ帰りました。

音楽で地域との絆を深めています

高階地区子どもサポート委員会

高階地区子どもサポート委員会では、「武蔵野ふれあいの森コンサート」を実行委員会とともに開催しています。これは、高階中・高階西中・寺尾中・福原中・川越初雁高の五校吹奏楽部が一同に会し、日ごろの練習の成果を発表するものです。昨年度は、川越南文化会館で二月十五日に開催されました。

◇主役である生徒たちを支えています

会場では、サポート委員が、受付案内・館内誘導など当日の運営全般を担当し、生徒たちの演奏会をサポートしました。五百人を超える来場者を、オレンジ色のジャンパーを着たサポート委員がスムーズに誘導してくださり、落ち着いた雰囲気の中で開演を迎えることができました。サポート委員の方は「生徒さんにとっても、地域にとっても、互いを身近に感じる機会になれば嬉しい」と話していました。



誘導をするサポート委員の皆さん



合同演奏でみんなの心を一つにします

各校の演奏もすばらしく、最後は五校合同で「行進曲ワシントンポスト」が披露され、観衆の興奮は最高潮に。拍手がいつまでも鳴りやみませんでした。

このコンサートは、今年度も一月十三日に川越南文化会館で開催される予定です。